

滋賀県立総合病院広報誌

FACE

第9号

2022.11

多様な分野で
当院スタッフを
サポートする



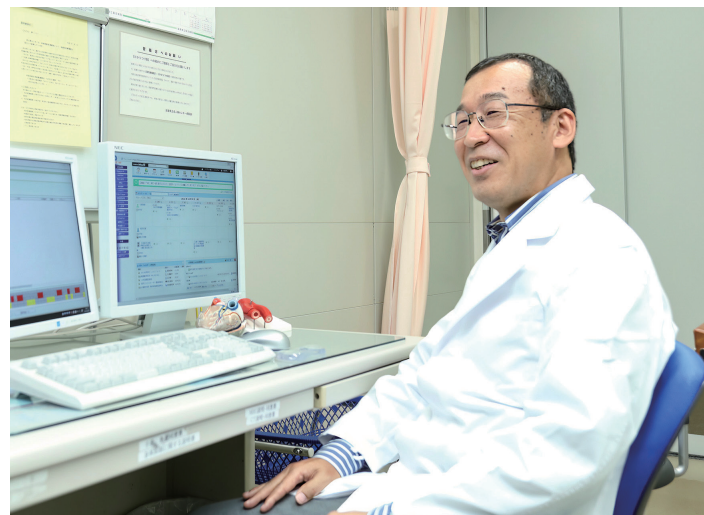


2019年第3回院内ファシリテーター養成研修会（前列左から3番目は監修の内藤先生）

医局をはじめ、医療職、事務職の多職種の方が、常に真面目でプロ意識を持って働いています



2020年11月ICLSコース(当院の研修医と看護師)



[経歴]

小菅 邦彦 (こすがくにひこ)

- 1986年 京都大学医学部医学科卒業、同附属病院内科研修医
- 1987年 大津赤十字病院内科、麻酔科、循環器科研修
- 1990年 京都大学医学部研究科博士課程(内科系専攻)入学
- 1994年 京都大学博士(医学)
- 1994年 滋賀県立成人病センター(現総合病院)救急部(循環器内科)
- 2004年 同センター検診指導部長
- 2006年 同センター救急部長
同センター循環器内科部長
- 2009年 同センター栄養指導部長
- 2013年 同センター循環器内科主任部長 兼 腎臓内科長
- 2017年 同センター教育研修センター長

自己紹介

先祖代々滋賀県で、曾祖父の代から医師の家系です。医師という職業を自然に選択し、大学は自由な校風にひかれて京都大学に入学しました。その後も滋賀と京都を行き来し、現在は滋賀県の田舎住まいです。

現場での臨床と臨床研究に興味があり、大学院修了後は当院に赴任し、現在に至っています。専門は循環器内科で、救急および災害対策も担当してきました。医療職の教育・研修も10数年以上担当してきました。